

健診・人間ドックで行う主な検査項目

| 項目 | | 基準値 | 一般健診項目 | 検査でわかること | 異常数値から発見できる病気 |
|---------|-------------------|----------------------------------|--------|--|--|
| 身体計測 | 身長・体重 | BMI=18.5～24.9未満 | | 身長・体重を測定して肥満度をチェックします。 | |
| | 視力 | 裸眼で0.7以上 | | 近視の程度がわかります。 | |
| | 聴力 | 1000Hz 30dB以下 4000Hz 40dB以下 | | 1000Hzと4000Hzを検査します。 難聴・聴力低下がわかります。 | 加齢による難聴や、騒音性難聴 |
| 血圧測定 | | 収縮期90～139mmHg 拡張期89mmHg以下 | | 高血圧・低血圧を測定します。 | 本態性高血圧の他、内分泌疾患も |
| 尿検査 | 尿たんぱく | 陰性(-) | | 腎疾患、膀胱、尿路異常・尿路感染症などを調べます。 | 急性・慢性腎炎、腎盂腎炎、尿管、膀胱周辺の炎症や結石、腫瘍 |
| | 尿潜血 | 陰性(-) | | | 膀胱炎、腎炎、前立腺炎、腎臓や尿路の結石、ガン等 |
| | 尿ウロビリノーゲン | (±) | | 肝機能の影響を調べます。 | 急性・慢性肝炎、胆のう、胆道系疾患等 |
| | 尿糖 | 陰性(-) | | 糖尿病発見の糸口となります。 | 糖尿病、肺炎、肝臓・甲状腺の病気 |
| 血液検査 | 総コレステロール(T-CHO) | 140～219mg/dl | | 脂質異常症・動脈硬化がわかります。 | 動脈硬化、糖尿病、肝臓障害、甲状腺機能障害 |
| | 中性脂肪(トリグリセライド・TG) | 30～149mg/dl | | | 肥満症、脂肪肝、動脈硬化、糖尿病 |
| | HDLコレステロール(HDL-C) | 男40～99mg/dl 女50～109mg/dl | | | 動脈硬化、高血圧、虚血性心疾患、肥満症 |
| | AST(GOT) | 35IU/以下 | | 肝炎・肝硬変などの肝臓障害を調べます。 | 心筋梗塞、急性肝炎、慢性肝炎、脂肪肝、肝硬変、肝臓ガン |
| | ALT(GPT) | 35IU/以下 | | | 急性・慢性肝炎、骨の病気、慢性腎不全、前立腺肥大 |
| | ALP(アルカリフォスファターゼ) | 3～10U | | | 急性肝炎、アルコール性肝障害 |
| | -GTP | 55IU/以下 | | アルコール性肝炎を調べます。 | 急性肝炎、アルコール性肝障害 |
| | 赤血球(RBC) | 男400～539万/μ 女360～489万/μ | | 貧血を調べます。 | 鉄欠乏性貧血、病気やケガによる出血が原因の貧血、悪性貧血、再生不良性貧血、溶血性貧血 |
| | ヘモグロビン(Hb、血色素量) | 男13.0～16.6g/dl 女11.4～14.6g/dl | | | |
| | 尿酸値(BUN) | 8～20mg/dl | | 腎機能障害・尿路異常がわかります。 | 腎機能障害、糖尿病、消化管疾患、肝不全 |
| | クレアチニン(Cr) | 男1.1mg/dl以下 女0.8mg/dl以下 | | | 腎不全、尿毒症、慢性腎炎 |
| | 血糖値(BS) | 109mg/dl以下 | | 糖尿病をチェックします。 | 糖尿病、急性膵炎、膵臓ガン、肝硬変、慢性肝炎、肥満症 |
| | 尿酸値(UA) | 7.0mg/dl以下 | | 痛風をチェックします。 | 痛風、腎炎、腎結石、高血圧、白血病、溶血性貧血 |
| | X線検査 | 胸部X線検査 | - | | 呼吸器系の異常、循環器の異常がわかります。 |
| 腹部X線検査 | | - | | 胃・十二指腸の異常が発見できます。 | 胃炎、胃・十二指腸潰瘍、ポリープ、胃ガン等 |
| 心電図検査 | | - | | 虚血性心疾患その他の心臓の異常や心臓に影響を及ぼす全身疾患がわかります。 | 不整脈、狭心症、心筋梗塞 |
| 眼底検査 | | - | | 眼底網膜の血管や視神経の状態から動脈硬化や糖尿病性網膜症などが発見できます。 | 高血圧、動脈硬化、糖尿病などの内科的疾患の影響や、網膜剥離、視神経炎などの眼科的疾患 |
| 眼圧検査 | | 7～21mmHg | | 眼球の形状を保つのが眼圧です。角膜に圧縮空気を瞬間的にふきつけるなどして測定します。 | 緑内障、網膜剥離、高眼圧症、角膜ろう |
| 腹部超音波検査 | | 陰性(-) | | からだに向けて超音波を發し、そこから返ってくるエコーを受信して映像化します。肝臓、胆のう等の異常を発見できます。 | 肝臓、胆のう、膵臓の異常、卵巣、子宮、前立腺の障害も |
| 便潜血反応 | | 陰性(-) | | 大腸ガンをはじめ、消化器系の出血もチェックできます。 | |
| 子宮ガン検査 | | - | | 頸ガンは内診、細胞診、コルポスコープ検査、組織診、体ガンは細胞診と組織診を行います。 | |
| 乳ガン検査 | | - | | 乳房にしこりがないかどうかで判断するほか、精密検査としてマンモグラフィー、超音波検査、細胞診、生検を行います。 | |
| 脳ドック | | - | | 無症候の脳腫瘍や脳梗塞、クモ膜下出血の原因となる脳動脈瘤や脳血栓症を生じる可能性のある動脈の狭窄部などがわかります。 | |
| 診察 | | - | | 問診・視診・聴診・打診などにより検査結果や健康状態の判断に必要な情報が得られます。 | |

は厚生労働省の定める(労働安全衛生法)一般健康診断項目